

多職種で取り組む認知症患者等の摂食嚥下障害

近年、病院・施設・在宅と問わず認知症患者は増加の一方です。そして訪問歯科診療も徐々に社会に浸透しニーズも増えてまいりました。その中で認知症患者に対応するには口腔機能や栄養を継続的に診ていく事が重要でそれには摂食嚥下障害の知識が不可欠です。しかしながら、一般開業医が認知症患者、脳卒中患者の方などを診ていく上で「どこで、何を、どんなに診ていくのか？」

よくわからないという話を耳にします。

そこで今回は、訪問歯科診療に取り組むにあたりこれらに必要な基本的知識の学び方、そして脳卒中後の高次脳機能障害、特に認知症患者の食支援、多職種との連携など当院の取り組みを失敗談や成功例を織り交ぜお伝えしたいと思います。また口腔ケアについても少しお話しますので歯科衛生士さんもよろしければご参加ください。